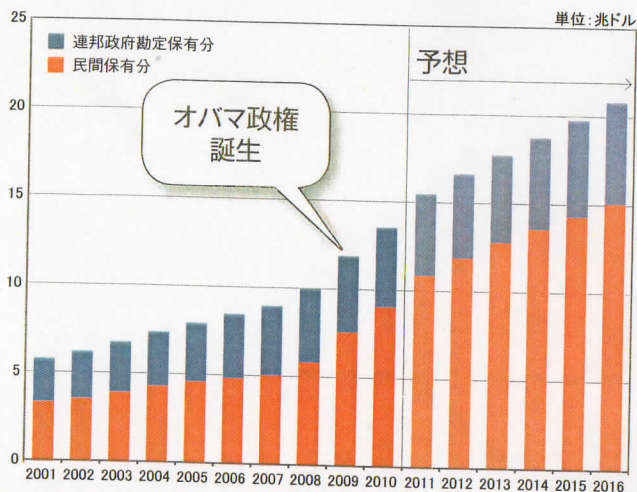


米国連邦債務残高の推移



このように、米国の債務残高はここ10年で急速に拡大しており、そのペースが2009年のオバマ政権誕生以降、上がっていることがわかります。今後の予想では2016年には20兆ドルを突破する見通しです。

出所: アメリカ合衆国行政管理予算局

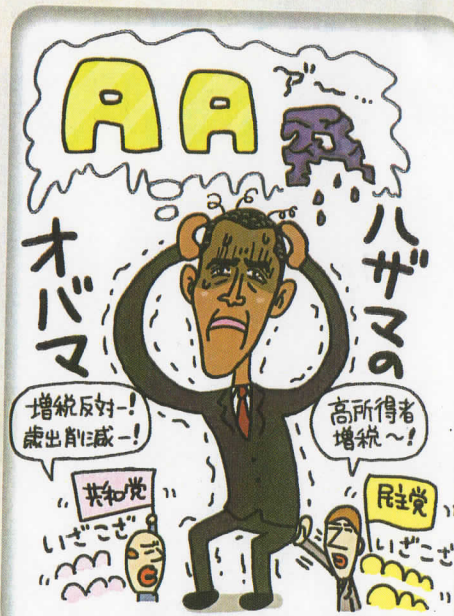


格付けも下がったし… 米国の財政問題って何なの？

今回は、米国の財政問題について解説します。簡単にいえばこの問題、米国政府が借金をどのくらいできるのか、その上限が法律で決まっているために起きています。

借金増加ペースが過去10年で最悪

米国では、政府の借金の上限を引き上げるためには議会の承認が必要となっています。しかし、当然ながら、ただ借金を増やせば解決するという問題ではありません。議会では上限を引き上げると同時に、これ以上、借金を増やさないための方策も議論されています。でも実際には、その解決策でもめたこともあり、政治的にはなかなか思うように赤字を削減できてこなかったというのが、これまでの流れです。この財政問題は、実は今に始まった話ではありません。過去何度も債務の上限を引き上げており、その都度、問題化している話なので



戦争と景気対策がキーワード

す。とくに現オバマ政権になってからの借金の増加ペースは、過去10年間の政権の中で最も早いペースであり、財政状況の先行きに対する懸念が広がっていることから、昨年、欧州の債務危機と並んで話題となりました。ただ2011年8月に、議会で債務上限引き上げに何とか合意したこともあり、米国が借金を返済できないという債務不履行(デフォルト)の危機はとどめを刺さる回避されることになりました。それではなぜ借金が膨らんでいったのでしょうか。過去をさかのぼってみると、「戦争」と「景気対策」の2点が大きく関与していることがわかります。たとえば、イラクやアフガニスタンでの戦費負担が増大したことが米国の財政にも大きく影響を与えていますし、大型減税やリーマン・ショック後の追加景気刺激策などに伴う財政負担が借金を膨ら

今年11月は大統領選挙

米国の議会は、大きくは民主党と共和党の2大政党から成り立っています。11月に赤字削減策に合意できなかった理由は、民主党サイドは高所得者に対して増税を行うことで歳入を増やそうと主張していた一方、共和党サイドは医療を中心に歳出削減を行い、財政赤字を減らそうと主張、この点で、妥協することができなかったためです。

また、今年11月には大統領選挙が行われます。この選挙は、米国の借金を削減する措置が決まらず、これに従って、1.2兆ドル以上の赤字(すでに決まっている分も含めると少なくとも2.1兆ドル)を10年かけて削減することになる見通しです。

そこには、今年の11月に行われる大統領選挙に向けた両党の思惑が。民主党は中低所得者の票を確保したいですし、共和党は、健全財政を目指し大幅な歳出削減を主張するティー・パーティーの意向を取り込まざるをえないという事情があります。

こうしたいざこざを抱えた財政問題が引き金となり、米国債の格付けは2011年8月に最上級であるトリプルAから、一段階引き下げられダブルAプラスとなりました。政治的な問題が、株式市況や為替にも大きく影響を与えかねず、大統領選の行方も含め米国の動向に目が離せません。

伊藤 亮太

(いとう・りょうた)
スキラージャパン 副社長
CFP®、DCアドバイザー
証券外務員資格など



証券会社勤務後、2007年11月に独立系FP会社スキラージャパンを設立。ライフプランニングの提案、保険の見直し、証券取引所などでの資産運用に関する講演など多方面で活躍。東洋大学経営学部非常勤講師

FP伊藤亮太のサイト <http://www.ryota-ito.jp>
スキラージャパン <http://www.skir-jp.com>